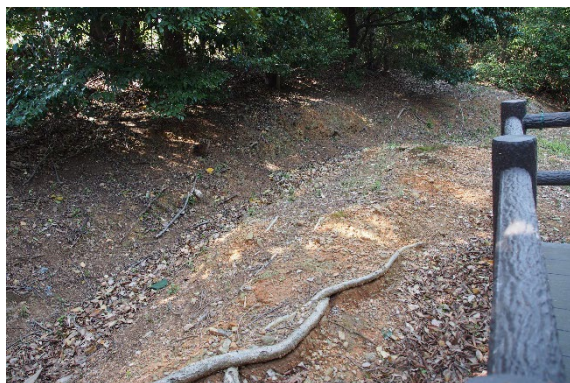
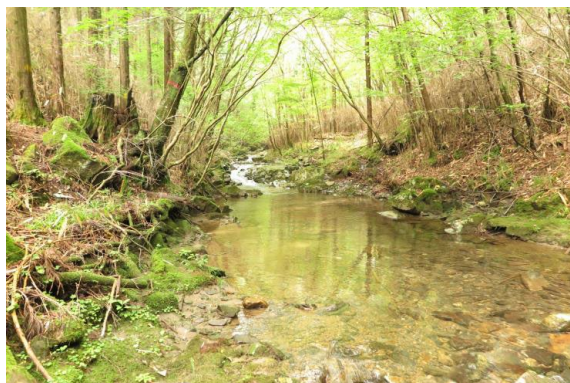


東三河ジオ資源現況調査報告書



発行

東三河ジオ資源活用推進連絡会

編著

東三河ジオ資源活用推進連絡会 作業部会

調査票の凡例及び注釈

ジオサイト	
	「ジオのみどころ（下記参照）」を1〜複数箇所含む、大地の成り立ちと、その地域の自然、歴史、文化などに特色が見られる一定の範囲を「ジオサイト」として、地名などを基に示した
ジオの見どころ	
	ジオは地球や大地を示す言葉で、地形や地質といった地球科学的な現象などを基に、大地の成り立ちについて知ることができる場所を「ジオのみどころ」として、地名などを基に示した
所在地	
	・市町村から記載、番地と大字、字は省略したものを記載（該当地が一箇所でも省略した番地の範囲内の場合）
	・該当地が一定の広さをもつ範囲や、複数箇所が対象の場合は、その範囲を含む最も詳細な住所、又は「〇〇地域」として示した
ジオ資源的価値（AA・A・B）	
AA	地形や地質が既に国、県の天然記念物や名勝、自然環境保全地域等の指定を獲得している
A	地形や地質が市町村の指定を獲得している、又は指定などの評価はないが、今後上記に押す価値があると判断されるもの
B	見どころとしての価値はあるが、価値の判断には調査が必要なもの
理解しやすさ（A・B・C）	
A	中学生レベルの学力で理解可能
B	一般人、高校生レベルの学力で理解可能
C	一般人では理解が難しい、大学の地質系授業レベルの難易度
観光面の価値（A・B・C）	
A	観光を目的とした客がコンスタントに訪れる
B	今後、イチオシスポットなどとテコ入れすれば観光客が見込める
C	マニアや地質に興味をもつ人以外、一般的な観光地としては成り立たない
アプローチ（A・B・C）	
A	現地まで公共交通機関でのアプローチが可能。観光バスが駐車できる駐車場が完備
B	マイクロバスや自家用車数台が駐車できるスペースがある
C	自家用車1〜2台。又はA・Bレベルの駐車場から現地まで徒歩で30分以上かかる
種類（ジオ・エコ・ひと）	
ジオ	（ジオサイト、Geosite）地質・地形のうち地域を特徴付ける地球科学的な事象を保存した典型的な露頭や地形を保全及び活用するための地点を有するもの
エコ	（エコサイト、Ecological site）次に該当する動植物及びその生息地を保全及び活用するための地点のうち、近隣ジオサイト又は対象地点の地質・地形といった地球科学的な事象との関連性が顕著であるもの ①地域特有の動物や植物の生息地 ②特有の産ではないが、地域著名の動物や植物としてその保存を必要とする生息地 ③自然環境における特有の動物や植物又は動物群集や植物群集 ④地域に特有な蓄養動物又は、栽培植物 ⑤絶滅に瀕した動物や植物の自生地
ひと	（カルチュラルサイト、Cultural site）次に該当する文化・産業を保全及び活用するための地点のうち、近隣ジオサイト又は対象地点の地質・地形といった地球科学的な事象との関連性が顕著であるもの ①地域の歴史を象徴する建築物、土木建造物及びその他の工作物 ②地域の特色において顕著な建築物、土木建造物及びその他の工作物 ③地域の特色において顕著な産業及び文化施設
主な活用（観光・教育・保全）	
	見どころの現状において、活用可能な手法として、観光、教育、保全の何れが該当するかを選択し記した

ジオツーリズムへの活用（活用可・活用不可）	
	ジオツーリズムとは大地の成り立ちをストーリーとして楽しむ旅のことで、それにジオの見どころを利用、公開することの可否を示した（何等かの問題を抱えていても、今後の学術的価値や観光面で価値が高い、又は見込まれるものは、活用不可でもこの一票に記載した）
規制法令等	
	現地の保護、保全を目的とする規制に関する主な法令を記載
指定状況	
	上記の法令等に関連した指定状況を記載
保全・整備活動	
	公共団体、地域住民、それらの任意団体を問わず、行われている保全整備活動について記載
活用事例	
	ジオ資源として、観察会や学習の場としての活用や、観光、レジャー、アクティビティでの活用などについても記載
アクセス	
	基本は公共交通機関を利用を想定し、最寄駅からのアクセスを記載しているが、車しか移動手段がない場合は最寄りのIC(インターチェンジ)や、各市町村の役場などからのアクセスを記載
駐車場（有・無）	
	現地まで徒歩で約30分圏内に駐車場がある場合は「有」、駐車場まで30分以上かかる場合は「無」とした
説明看板（有・無）	
	地形や地質、大地の成り立ちなどに関する看板、又は主な内容が生物や歴史、マップなどだが、ジオと関連性がある内容の看板があれば「有」、それ以外は「無」とした
トイレ（有・無）	
	現地周辺、そこから駐車場に至る徒歩圏内（付近公共施設等含む）にトイレがある場合は「有」、無い場合は「無」
公開URL	
	公共機関等が見どころについて公開している主なURL（2026年5月確認分）を示した
見どころ	
	地形や地質の特徴だけでなく、それに関連する生物、歴史、観光などの情報についても示した
現場現況	
	各市町村の調査担当者が把握している現場状況（2020〜2026年）について記載
備考	
	季節的な催事情報や閉鎖期間などアクセスに関わる情報など、ジオと直接的な関連性が薄い情報を記載
図	
現地	見どころの場所や遠景・全景など、現地の様子をページ右上に図1〜2枚で示した
位置	見どころの位置は、「国土地理院発行2.5万分1地形図」、「国土地理院発行5万分1地形図」、「電子地形図25000（国土地理院）」に基づき図で示した
指定	見どころが、国定公園や県立自然公園の指定範囲に該当するかについて、以下の著作物に基づき図で示した「愛知県自然公園情報マップ」愛知県、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示2.1日本
その他	現地にある説明や指定に関する看板、駐車場やトイレ、アクセスに関する看板などの情報を図で示した

ジオサイト	20 豊川流域
ジオのみどころ	52 豊川下流域

所在地	豊橋市北部地域（豊川・新城市境と接する地域含む）
地質的価値	B
理解しやすさ	C
観光面の価値	C
アプローチ	C
種類	エコ・ひと
主な活用	教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	河川法、森林法
指定状況	地域森林計画対象民有林
保全・整備活動	豊川アダプト制度の登録団体などによる美化・清掃、環境保全活動、河川愛護活動などを行っている
活用事例	牛川の渡船、河川敷でのスポーツやレジャー、各種団体や博物館、学校などによる環境学習などで活用
アクセス	車及びJR豊橋駅より市電、バス、徒歩にて現地へ
駐車場	有（下条橋付近や牛川の渡しの左岸側など）
説明看板	無
トイレ	無
公開URL	国土交通省 豊橋河川事務所 https://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/index.html 豊橋市土木管理課（牛川の渡船；牛川の渡し） https://www.city.toyohashi.lg.jp/2923.htm 豊橋市環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4432.htm



牛川の渡し



豊橋市役所13Fより遠望



賀茂橋下の河原を望む

見どころ	蛇行による地形がつくる河原（賀茂、三上、大村）や、中洲（金色島）、霞堤(下条、大村)の痕跡などが、豊橋市役所の最上階などから眺望という形で観察できる。また、牛川の渡し（市道牛川町・大村町244号）が整備されている。汽水（感潮）域の生物河畔林（豊川蛇行部分）、豊川河川敷ではアカメヤナギやツルヨシなど、水辺や河原を代表する植物などが観察できる。
現場現況	上記の豊橋河川事務所のURLより、リアルタイム防災情報及び河川データ（水質や生物等）が見られる。
備考	とよはしネイチャースポットに選定。



牛川の渡し（右岸側の表示）



シジミ採り（金色島周辺）

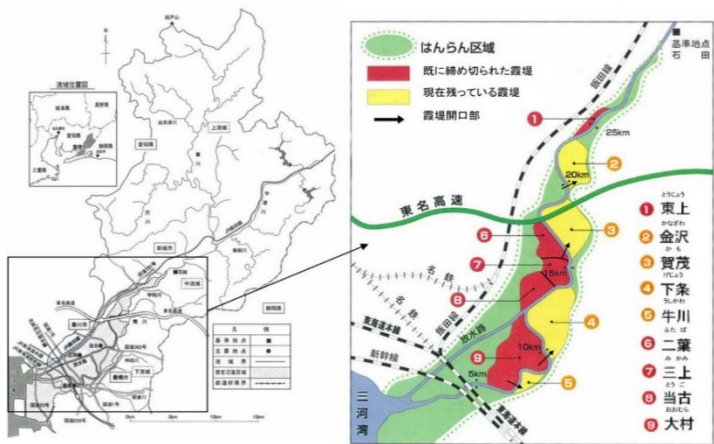


大村取水口（左奥）付近の川原

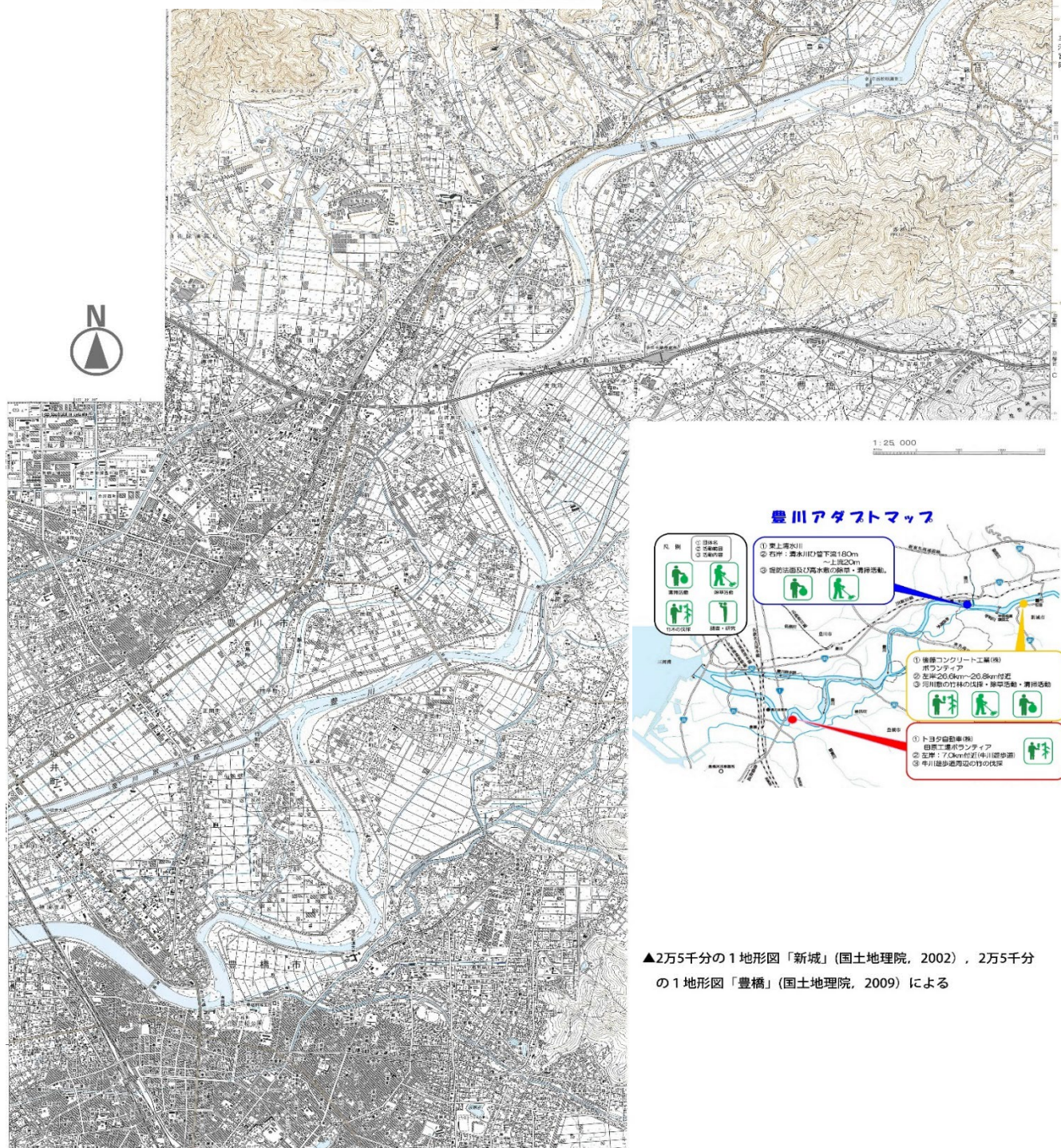


看板

■豊川の霞堤の位置



←「豊川の霞堤」（国土交通省中部整備局豊橋河川事務所、2013）より抜粋、



▲2万5千分の1地形図「新城」（国土地理院，2002），2万5千分の1地形図「豊橋」（国土地理院，2009）による

ジオサイト

20 豊川流域

ジオのみどころ

53 瓜郷遺跡

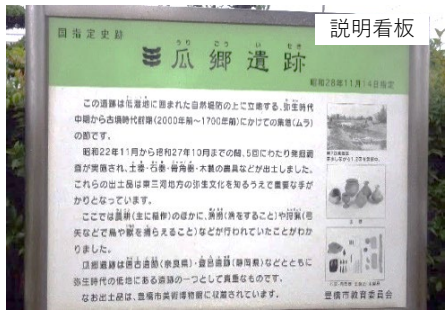
所在地	豊橋市瓜郷町寄道
地質的価値	A
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	C
種類	ひと
主な活用	教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	文化財保護法
指定状況	国指定史跡
保全・整備活動	「史跡瓜郷遺跡保存管理計画」に基づき、整備地南側の土地を計画的に豊橋市が購入。史跡の一部を整備。
活用事例	豊橋市教育委員会美術・文化財課等が活用
アクセス	JR下地駅より徒歩15分、「かわきたバス」にて「瓜郷遺跡」下車。
駐車場	有（3台）
説明看板	有（貝塚等）
トイレ	有
公開URL	豊橋市美術博物館（瓜郷遺跡） https://www.toyohashi-bihaku.jp/?page_id=557



見どころ 豊川河口に近い沖積低地に位置する弥生中期～後期の集落跡の遺跡。遺跡は当時の砂州上にあり、各種木製の農耕具の他に、骨角器や貝塚も見られる。農耕だけでなく漁撈と狩猟の痕跡を示す貴重な遺跡。

現場現況 史跡の一部（北側）には復元住居があり、説明看板や豊橋市教育委員会美術・文化財課のパンフレット置き場などが設置されている。

備考 最終的に史跡公園として整備予定。



ジオサイト	20 豊川流域
ジオのみどころ	54 六条潟
所在地	豊橋市西浜町、前芝町
地質的価値	B
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	B
種類	エコ
主な活用	教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	港湾法
指定状況	港湾区域（重要港湾三河港内）
保全・整備活動	みなと塾による干潟の清掃活動（川と海のクリーン大作戦）
活用事例	みなと塾などの環境保護団体や博物館、学校などで環境学習等で活用、潮干狩り等のレジャーでの活用
アクセス	豊橋駅より豊橋市民病院線「小向町」乗換、梅藪豊橋市民病院線「前芝海岸」下車徒歩約5分
駐車場	有（約15台、防潮堤防沿いに駐車スペースあり）
説明看板	無
トイレ	有（防潮堤防近くの元屋敷公園にあり）
公開URL	みなと塾 https://minato19.dosugoi.net/ 豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4392.htm



防潮堤防より南方向を望む



防潮堤防より北方向を望む

見どころ	豊川河口右岸側の三河湾沿岸に広がる砂泥質の干潟。佐奈川の河口部にあるヨシ原周辺は塩性湿地となっている。
現場現況	防潮堤防沿いを中心に海拔を示す標識が所々にある。
備考	とよはしネイチャースポットに選定。



出典 国土地理院地図 一部加工



防潮堤防沿いの駐車スペース（左奥前芝館）



防潮堤防内側の公園（手前の建物がトイレ）



出典 国土地理院地図 一部加工

ジオサイト
24 吉祥山

ジオのみどころ
67 吉祥山

所在地	豊橋市及び新城市境
地質的価値	AA
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	B
種類	ジオ・エコ
主な活用	観光・教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例、森林法
指定状況	愛知県自然環境保全地域（普通地区）、保安林、地域森林計画対象民有林
保全・整備活動	吉祥山ボランティアの会：草刈りや清掃等（月2回程度）
活用事例	吉祥山ボランティアの会、豊橋市観光プロモーション課、東三河総局環境保全課、博物館等が活用
アクセス	豊橋駅前より豊鉄バス豊橋和田辻線にて「四ツ谷」下車、Aコース入口まで徒歩約30分
駐車場	有（Aコース17台・Bコース10台）
説明看板	有
トイレ	有
公開URL	豊橋市 観光プロモーション課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/48435.htm 豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4390.htm

見どころ	三波川変成帯を特徴づける特異な地質が見られる山。山頂部や山頂下北尾根、豊橋市側登山道Bコース周辺などで角閃石片岩の露頭が観察できる。山頂下北尾根の吉祥天祠付近には、スダジイ等の巨木が見られる。Bコース登山口から月の森案内所周辺にかけてシロバナクサナギオゴケ、ナツトウダイ、ヤブレガサ、テンナンショウ属の複数種の植物など、形態的に特徴的な植物が見られるとのこと。また、A・Bコースともカゴノキ、ホウノキなどの見所あり。
現場現況	市境（新城市、豊橋市）にまたがる山。豊橋市側は登山コース（A・B・C）及び休憩所（A）、トイレ（A）、駐車場（A・B）あり。新城市側は登山道のみあり、定期的な整備は入っていない。
備考	平成13年度に「木とのふれあい施設整備事業」で県と豊橋市が休憩施設等を整備。とよはしネイチャースポットに選定。



山頂部角閃石片岩露頭



山頂から豊橋方面望む



山頂下北尾根吉祥天祠周辺



Aコース休憩所



Cコース入口



Bコース駐車場



看板



出典 国土地理院地図 一部加工



看板

ジオサイト	25 弓張山地
ジオのみどころ	68 嵩山蛇穴
所在地	豊橋市嵩山町浅間下
地質的価値	B
理解しやすさ	A
観光面の価値	B
アプローチ	B
種類	ジオ・エコ・ひと
主な活用	観光・教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	愛知県立自然公園条例、文化財保護法、森林法
指定状況	石巻山多米県立自然公園（第2種特別地域）、国指定史跡、地域森林計画対象民有林
保全・整備活動	—
活用事例	豊橋市教育委員会美術・文化財課、豊橋市観光プロモーション課、豊橋自然歩道推進協議会、博物館関連団体
アクセス	豊橋駅より豊鉄バス豊橋和田辻線にて「嵩山」下車、徒歩約450m
駐車場	有（嵩山校区市民館の駐車場）
説明看板	有
トイレ	有
公開URL	豊橋市美術博物館 https://www.toyohashi-bihaku.jp/?page_id=513 豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4420.htm



嵩山蛇穴入口

見どころ	山腹南側斜面にある石灰岩洞。奥行約70m。出土した土器などから縄文時代草創期の遺跡と推定される。ジャアナヒラタゴミシやホラアナゴマオカチグサ近似種等、希少な生物が生息。蛇穴より南斜面の道沿いで100mほど先に水が湧く水穴がある。また、一般未公開の鍾乳洞（新穴）や、本坂峠にチャートの大規模な露頭が見られる。
現場現況	嵩山蛇穴周辺は、長雨による倒木などの影響で、しばしば現場へのアクセスが禁止されることがある。
備考	嵩山蛇穴へ続く階段は石灰岩で雨などで濡れていると滑りやすい。とよはしネイチャースポットに選定。



水穴



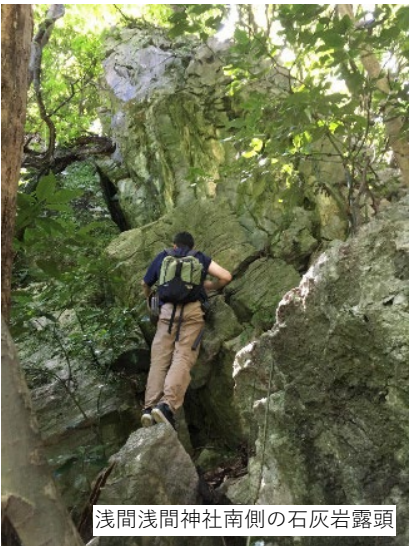
出典 国土地理院地図 一部加工



駐車場



嵩山蛇穴横案内看板



浅間浅間神社南側の石灰岩露頭

ジオサイト	25 弓張山地
ジオのみどころ	69 石巻山

所在地	豊橋市石巻町南山
地質的価値	AA
理解しやすさ	A
観光面の価値	B
アプローチ	A
種類	ジオ・エコ・ひと
主な活用	観光・教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	愛知県立自然公園条例、文化財保護法、森林法、都市計画法
指定状況	石巻山多米県立自然公園（第1種・第2種特別地域）、国指定天然記念物（石巻山石灰岩地植物群落）、国有林、地域森林計画対象民有林、風致地区
保全・整備活動	管理者が適宜行っている。
活用事例	登山やハイキングなどのレジャーに利用。学校や博物館などが環境学習などに利用。
アクセス	豊橋駅より豊鉄バス豊橋和田辻線にて「石巻登山口」下車、山頂まで徒歩約60分
駐車場	有（30台、石巻山中腹にあり）
説明看板	有（石巻自然科学資料館にあり）
トイレ	有
公開URL	豊橋市自然史博物館（豊橋市石巻自然科学資料館） https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/ishimaki/ishimaki.html 豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4361.htm

見どころ	標高358mで、秩父帯の堆積岩類からなる山。中腹あたりまでは海底火山から噴出した溶岩からなる緑色岩やチャートなどが分布。そこから山頂にかけては石灰岩が観察できる。山頂部にはカルスト地形が見られ、石灰岩地固有の陸貝や動植物が分布している。
現場現況	山腹の駐車場より山頂まで徒歩約20分。駐車場から続く石巻観光路は静岡県との県境、大知波峠へと続き、チャートの露頭や巨岩が観察できる。
備考	とよはしネイチャースポットに選定



石巻山全景



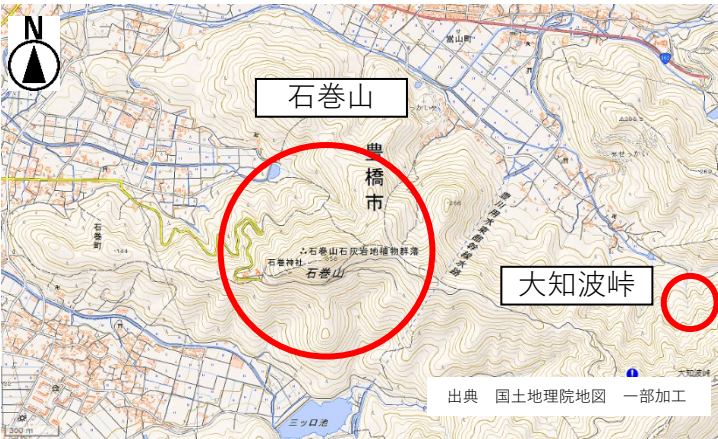
このしろ池付近（石灰岩と緑色岩が接している）



オモイガケナマイマイ



駐車場（奥の建物はトイレ）



出典 国土地理院地図 一部加工



大知波峠近くにあるチャート露頭



看板



石巻自然科学資料館



山頂より南を望む



ダイダラボッチの足跡

ジオサイト	25 弓張山地
ジオのみどころ	70 赤岩
所在地	豊橋市多米町赤岩山
地質的価値	B
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	A
種類	ジオ・ひと
主な活用	保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	森林法、都市計画法、都市公園法
指定状況	地域森林計画対象民有林、風致地区、都市緑地（借地）
保全・整備活動	管理者が適宜行っている
活用事例	寺の拝観やハイキングなどで利用。博物館や環境保護団体などが環境学習などに利用。
アクセス	豊橋駅より豊鉄バス飯村岩崎線にて「赤岩」下車、徒歩約5分。豊橋鉄道市内電車にて「赤岩口」下車、徒歩約25分。
駐車場	有（約20台）
説明看板	無
トイレ	有（赤岩山緑地）
公開URL	豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4414.htm 豊橋市 公園緑地課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/3949.htm



見どころ	赤岩寺の奥にある赤岩山は弓張山地の一部で、秩父帯の堆積岩であるチャートの巨大な岩壁があり、地名の由来となっている。ここのチャートは、古くから「ラジオラリア（放散虫）の化石を含む岩石」として知られていた。
現場現況	入山時間は午前8時～午後5時。
備考	展望台がある。赤岩寺には国・県・市指定の文化財がある。とよはしネイチャースポットに選定。



ジオサイト
25 弓張山地

ジオのみどころ
71 葦毛湿原

所在地	豊橋市岩崎町長尾、岩崎町南山
地質的価値	AA
理解しやすさ	A
観光面の価値	A
アプローチ	A
種類	ジオ・エコ
主な活用	観光・教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	愛知県立自然公園条例、文化財保護法、森林法、都市計画法
指定状況	石巻山多米県立自然公園（第2種特別地域）、国指定天然記念物、国有林、地域森林計画対象民有林、風致地区
保全・整備活動	豊橋湿原保護の会に委託。豊橋市教育委員会美術・文化財の指導により、植生回復作業や下草刈りなどの環境整備を行っている。
活用事例	ハイキングなどのレジャーに利用。博物館や環境保護団体などが環境学習などに利用。
アクセス	豊橋駅より豊鉄バス「飯村岩崎線」で20分、「岩崎・葦毛湿原」下車、徒歩15分
駐車場	有（50台、無料駐車場が2か所あり）
説明看板	有
トイレ	有
公開URL	豊橋市美術館 https://www.toyohashi-bihaku.jp/?page_id=4594 豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4359.htm

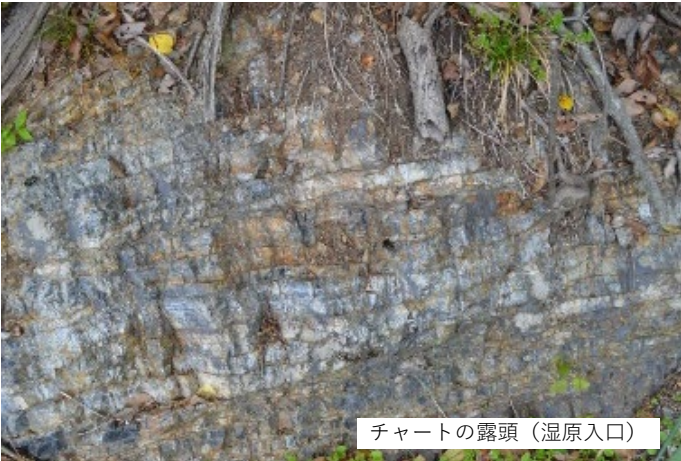
見どころ	弓張山地の西側山麓にある標高70mほどの傾斜地にある湿原。チャートの岩盤上に泥や粘土が薄く堆積し、地下に植物遺体の堆積層がなく、帯水層が薄いのが特徴。ミカワバイケイソウ、カザグルマなど固有の植物、ハッチョウトンボやヒメヒカゲなどの昆虫が見られる。2013年から大規模植生回復作業が行われている。
現場現況	前回調査時に比べ、表層にチャート礫が多く露出していた。
備考	とよはしネイチャースポットに選定。



葦毛湿原全景



葦毛湿原植生回復作業



チャートの露頭（湿原入口）



出典 国土地理院地図 一部加工



駐車場



湿原入口案内看板



湿原入口に東屋、トイレ（右奥）あり



自然公園・鳥獣保護の看板

ジオサイト	25 弓張山地
ジオのみどころ	72 岩屋山
所在地	豊橋市大岩町火打坂
地質的価値	B
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	A
種類	ジオ・ひと
主な活用	教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	都市計画法、都市公園法
指定状況	風致地区、都市緑地
保全・整備活動	豊橋市が適宜管理するほか、岩屋緑地に親しむ会が岩屋緑地の休憩所や里山の管理をしている。
活用事例	ハイキングなどで利用。博物館や環境保護団体などが環境学習などに利用。
アクセス	JR二川駅より岩屋山頂まで徒歩約15分、豊橋駅前より豊鉄バス(二川線)で「岩屋公園口」下車、徒歩約10分
駐車場	有 (40台)
説明看板	無
トイレ	有
公開URL	豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4384.htm



山頂より東南方向遠望



山頂部の褶曲チャート

見どころ	岩屋山はチャートの巨岩からなる山で、山頂には岩屋観音と呼ばれる正（聖）観音像が設置されている。山腹南面にある岩屋堂（観音堂）北側の岩壁には、洞窟状の浅い窪みがあり、右上から左下に断層が観察できる。周辺にはチャートが名の由来となった「火打坂」という地名がある。
現場現況	山頂の岩屋観音付近は鎖場となっておりアクセスは容易。
備考	とよはしネイチャースポットに選定。岩屋緑地西側広場整備中。



出典 国土地理院地図 一部加工



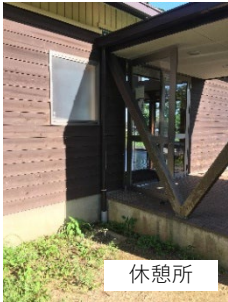
観音堂北壁の断層



案内看板



山頂の岩屋観音像



休憩所



岩屋緑地駐車場

ジオサイト	26 天伯・高師
ジオのみどころ	73 高師小僧

所在地	豊橋市西幸町浜池
地質的価値	AA
理解しやすさ	A
観光面の価値	C
アプローチ	B
種類	ジオ
主な活用	教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	愛知県文化財保護条例
指定状況	県指定天然記念物
保全・整備活動	管理者により適宜保全整備されている
活用事例	浜池公園のはぎとり標本を高師小僧を愛する会や博物館などが環境学習などに利用。
アクセス	豊橋駅より豊鉄バス豊橋技科大線にて「測点」下車、徒歩約10分。または天伯団地線にて「サイエンスコア」下車、徒歩約5分。
駐車場	有（27台、高師台生涯学習センター駐車場）
説明看板	有
トイレ	有（高師台生涯学習センター）
公開URL	豊橋観光コンベンション協会 https://www.honokuni.or.jp/toyohashi/spot/000241.html 豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4424.htm



見どころ	褐鉄鉱の一種で、植物の根の周りに同心円状に鉄分が濃集したもの。高師原台地をはじめ、豊橋南部地域の第四紀後期更新世の段丘堆積物中に見られる。地名がこの名の由来となっている。
現場現況	浜池公園の遊歩道及び豊橋市自然史博物館に、高師小僧を含む地層の状況を示すはぎとり標本あり。また、高師台生涯学習センター、豊橋市地下資源館には高師小僧が展示されている。
備考	とよはしネイチャースポットに選定。



ジオサイト

27 表浜海岸

ジオのみどころ

74 小松原海岸

所在地	豊橋市小松原町浜
地質的価値	B
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	B
種類	ジオ・エコ・ひと
主な活用	教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	森林法、海岸法
指定状況	地域森林計画対象民有林
保全・整備活動	市民団体等による砂浜再生事業など。
活用事例	サーフィンや釣りなどレジャーに利用。各種団体や博物館などが環境学習などに利用。
アクセス	国道42号より「王寿園」案内看板にて海岸へ、車で約10分
駐車場	有（50台）
説明看板	有（海岸利用、砂浜の自然・生物など）
トイレ	有
公開URL	豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4354.htm



海岸から北を望む



東観音寺之堂址（林の中）

見どころ

海岸から北に位置する平坦面には、1707年の宝永地震で壊滅的な津波被害をうけて移転した東観音寺之堂址がある。移転前の位置等は「小松原村絵図（東観音寺保管）」で確認できる。標高や周囲の地形、地質について考察でき、防災の観点からも利用が可能。冬を中心に吹く強い西風による風衝樹形が見られる。谷から砂浜に流れ込む水路がありリップルマークが観察できる。

現場現況

海岸部にAED、津波避難経路案内看板あり。

備考

現在の東観音寺は台地上にある。とよはしネイチャースポットに選定。



出典 国土地理院地図 一部加工



現・東観音寺の露头（レキ層）



海岸にある津波避難経路等表示看板など



駐車場とトイレ（右奥）

ジオサイト	27 表浜海岸
ジオのみどころ	75 伊古部海岸
所在地	豊橋市高塚町荒谷、伊古部町枇杷ケ谷
地質的価値	A
理解しやすさ	B
観光面の価値	B
アプローチ	B
種類	ジオ・エコ
主な活用	観光・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	自然公園法、森林法、海岸法
指定状況	三河湾国定公園（第2種特別地域、普通地域）、保安林、地域森林計画対象民有林
保全・整備活動	表浜ネットワークによる砂浜再生事業など。
活用事例	サーフィンや釣りなどレジャーに利用。各種団体や博物館などが環境学習などに利用。
アクセス	国道42号より「伊古部東」で野外教育センターへの案内看板に従い海岸へ、車で約10分
駐車場	有（77台）
説明看板	無
トイレ	有
公開URL	豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4357.htm



海食崖遠景



谷の西側に見られる浜から吹き上がった砂丘

見どころ	海岸部は海食崖となっている。谷の東側には渥美層群の露頭があり、露頭下部では赤沢泥部層に貝化石と火山灰層（At-3）などが観察される。冬を中心に強い西風が吹き、砂浜では吹き上がった風がつくる砂丘やリップルマークが見られる。また、潮風の影響を受けることで海岸樹形となったハマヒサカキが見られる。砂浜では、希少種としてイワダレソウ、代表種としてコウボウムギが見られる。
現場現況	古くは高塚町（谷の東側）にサンドスキー場があったが、現在は伊古部町（谷の西側）方面に砂丘が発達している。海岸部に津波避難経路案内看板あり。
備考	とよはしネイチャースポットに選定。



出典 国土地理院地図 一部加工



海食崖近景



トイレ



砂丘のコウボウムギ

ジオサイト

28 蔵王山

ジオのみどころ

78 汐川干潟

所在地	田原湾沿岸地域（豊橋市・田原市境）
地質的価値	A
理解しやすさ	A
観光面の価値	B
アプローチ	B
種類	エコ・ひと
主な活用	観光・教育・保全
ジオツーリズムへの活用	活用可
規制法令等	愛知県立自然公園条例、港湾法
指定状況	渥美半島県立自然公園（普通地域）、港湾区域（重要港湾三河港内）
保全・整備活動	各環境保護団体や豊橋市、田原市により保全活動が行われている。
活用事例	環境保護団体や博物館、学校などで環境学習等で活用、潮干狩り等のレジャーでの活用
アクセス	豊橋鉄道渥美線「やぐま台」より徒歩約15分、または豊橋駅より豊鉄バス伊良湖本線にて「やぐま台」下車、徒歩約10分
駐車場	有（約30台、田原市側の緑が浜公園駐車場）
説明看板	無
トイレ	有（緑が浜公園）
公開URL	豊橋市 環境保全課 https://www.city.toyohashi.lg.jp/4416.htm



汐川干潟全景（蔵王山頂から望む）



干潮時の様子

見どころ

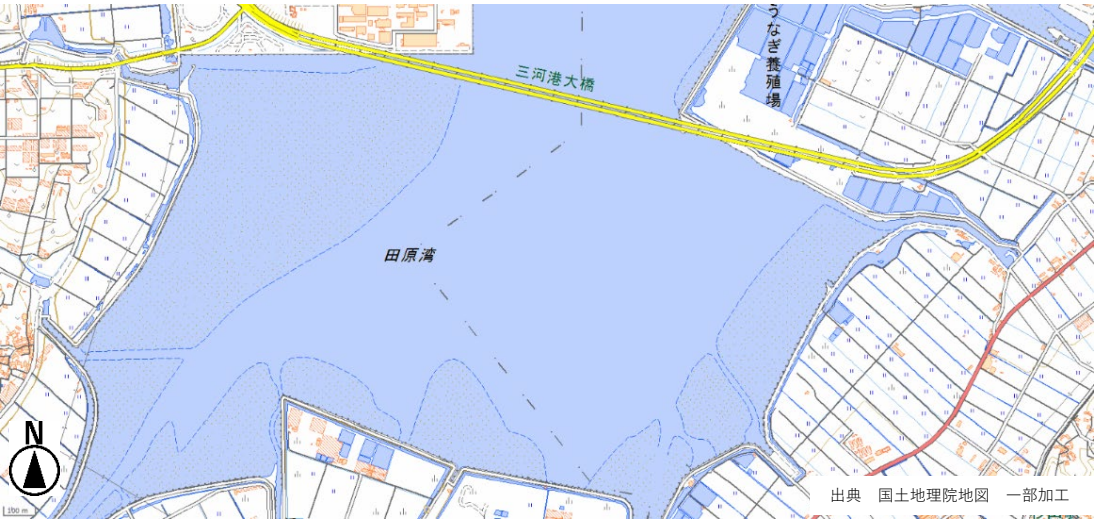
三河湾最奥部に位置する約280haの中部地方最大級の干潟。オカミミガイやカワザンショウ類など貴重な種を含む貝類のほかカニ類、魚類の宝庫で、シギ・チドリなどの渡り鳥の中継地、越冬地として有名。ハマボウやウラギクなど塩性湿地の植物も見られる。ラムサール条約登録の基礎資料である環境省選定の「重要湿地」。

現場現況

豊橋市側では観察場所等の設定は特にない。田原市側は緑が浜駐車場周辺等で観察可能。干潟の全景は、田原市蔵王山頂から一望することができる。

備考

日本の自然百選、とよはしネイチャースポットに選定。



出典 国土地理院地図 一部加工



満潮時の様子



緑が浜公園の駐車スペース

表紙写真

【豊根村】 P4 萩太郎山（芝桜まつり）	【設楽町】 P18 鷹ノ巣山（段戸）（豊川源流部）
【東栄町】 P25 鳶の淵（とうえい温泉）	【新城市】 P37 湯谷温泉（馬背岩）
【豊川市】 P49 豊川の旧河道（現在の豊川）	【蒲郡市】 P65 宗徳寺（三河地震による地割れ）
【豊橋市】 P74 葦毛湿原	【田原市】 P91 日出の石門（片浜十三里）

東三河ジオ資源現況
調査報告書

令和8年7月31日 発行
発行 東三河ジオ資源活用推進連絡会
編著 東三河ジオ資源活用推進連絡会 作業部会